

山梨建設新聞

平成 29 年 8 月 4 日 (金曜日)

足立敏之
参議院議員

大型補正が必要

県建協などと意見交換会



足立参議院議員

状況を報告し、大型補正の必要性を働き掛け続けていくと述べた。

そして「災害に備えるためにも、地方には公共事業が必要である。本年度も大型の補正予算をぜひお願いしたい。足立議員には、地方の安全・安心を守るために頑張っていただきたい」と期待を寄せた。



足立敏之議員との意見交換会

地方建設業界が直面している課題について意見を交換した

が整備されていた地域では大きな効果を発揮したことを指摘し、「インフラはしっかりと整備しておくべき」と強調。復旧では原形復旧から、川幅拡大などの改良復旧へとシフトすべきと訴えた。

さらに、九州北部豪雨では高速道路が応急対応に大きな効果を発揮したことに触れ、緊急輸送路を整備しておかなければならないと強調。一方で、山岳部の地方道は土砂崩落などで大きな被害を受けたため、先に手を打っておくべきと訴えた。

地方の防災、活性化に必要

寄せた。

来賓の白井成夫自民党県連幹事長は、リニア中央新幹線の建設など本県には発展に向けた可能性

があると指摘。「それには大型補正予算、インフラ整備への投資が必要になる」と述べた。

地元の山下政樹笛吹市長も、市発展のため、山梨発展のために、足立議員など出席者のさらなる活躍に期待を寄せた。

九州北部豪雨や秋田豪雨では河川の堤防やダム



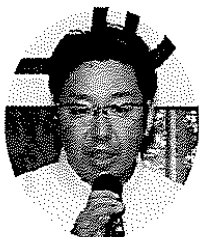
浅野会長

足立敏之参議院議員(自由民主党)と県建設業協会など県内建設業関係者による意見交換会が2日、笛吹市内で開かれた。県建協などは大型補正予算の必要性を訴え、足立議員も地方建設業の現状に理解を示すとともに、災害現場を視察した



白井自民党県連幹事長

県建協の浅野正一会長はあいさつで、最近の自然災害の状況に触れながら「山梨でも危険な箇所が多い。地方建設業は公共投資の抑制で経営が厳しくなっており、災害時にすぐ対応できるか不安になる時もある」と現状を吐露。



山下笛吹市長

が整備されていた地域では大きな効果を発揮したことを指摘し、「インフラはしっかりと整備しておくべき」と強調。復旧では原形復旧から、川幅拡大などの改良復旧へとシフトすべきと訴えた。

九州北部豪雨や秋田豪雨では河川の堤防やダム

これらの対策には予算が必要になるが、「当初予算だけでは足りない。大型の補正予算によって対応していかなければ」と強調した。